

2021年度 公開講座 / シンポジウム



公立大学法人

静岡文化芸術大学

ミュージアムは 誰とつながるのかー 過去・現在・未来

ーコレクションの地域社会における意義を考えるー

2021/11/14(日)

13:30 開場 14:00~16:00

静岡文化芸術大学 講堂

入場無料 (定員250名、要事前申し込み)

【主催】 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター / 静岡県立美術館 / 中日新聞東海本社

【協力】 浜松市美術館

【構成】 <主催者挨拶> 静岡文化芸術大学理事・高田和文 / 中日新聞東海本社代表・佐藤育男

<第一部> …… 美術館コレクションの意義と移動美術館の紹介を兼ねた基調講演

「コレクションは移動し、根づき、芽を吹く」 静岡県立美術館館長・木下直之

<第二部> …… パネルディスカッション

登壇者: 静岡県立美術館館長・木下直之 / 静岡文化芸術大学准教授・田中裕二 / 静岡県立美術館学芸員・植松篤 / 浜松市美術館学芸員・増井敦子 司会: 静岡文化芸術大学教授・立入正之

【開催趣旨】

静岡県立美術館が所蔵するコレクションの名品で構成した移動美術展「静岡県立美術館超名品展 風景と人間」は、浜松市美術館を会場として開催が決まり(会期:2021年11月13日から12月19日)、同展覧会の開催に合わせて、「コレクションの地域社会における意義を考える」をテーマとして、シンポジウムを開催します。コロナ禍の影響により、海外のミュージアム・コレクションを中心に構成し、全国を巡回する展覧会の開催が困難になる中、静岡県や浜松市の美術館が持つコレクションについて改めて見直し、公立美術館が地域社会に果たす役割を再考していくきっかけになればと思っています。登壇者は浜松出身で同展覧会の監修者であり、現在、静岡県立美術館の館長を務める木下直之氏をメインスピーカーに迎え、本学教員・静岡県立美術館・浜松市美術館の学芸員を予定しています。

本シンポジウムの開催年である2021年は、静岡県立美術館が開館して35周年、浜松市美術館の開館50周年に当たり、両美術館がこれまで形成してきたコレクションについて広く知っていただく機会になればと思っています。また数々の展覧会の企画、ときには後援となって美術館と共に歩んできた中日新聞東海本社の40周年という、主催者の周年イヤーでもあります。

本学と静岡県立美術館、浜松市美術館との連携を通じて、美術館が「誰」とつながるのか。静岡県・浜松市の地域社会の市民と、過去と未来をつなぐ役割について、参加者のみなさんと一緒に考えていく機会となれば幸いです。

【登壇者】



静岡県立美術館
学芸員 植松篤



静岡県立美術館
館長 木下直之



静岡文化芸術大学
教授 立入正之



静岡文化芸術大学
准教授 田中裕二



浜松市美術館
学芸員 増井敦子

【お申し込み方法】

大学Webサイトからお申し込みください。 Webサイト: [SUAC](#) 検索

お申込みの必要事項は以下のとおりです。

・氏名(フリガナ) / 郵便番号 / 住所 / 電話番号 / メールアドレス

※お申込み頂いた個人情報は本学プライバシー・ポリシーに基づき適切に管理いたします。なお、本講座を実施するための連絡等に利用する他、各種講座のお知らせのために利用することがあります。

【お問合せ先】

静岡文化芸術大学 地域連携室

〒430-8533 浜松市中区中央2-1-1

電話: 053-457-6105 FAX: 053-457-6123

【アクセス】

・徒歩: JR浜松駅から徒歩15分

・バス: 浜松駅バスターミナル 10番乗り場遠鉄バス「文化芸術大学」下車
(70番子安・笠井行を除く)

※本学には駐車場はございません。公共交通機関、または近隣の有料駐車場をご利用ください。



チラシデザイン: デザイン学科 原田真希